

別紙3 チラーレス空調システム(オプション)

- 冷涼な気候を利用して、循環水を媒体としてサーバールームの熱を外気に排熱する方式。冷水器(チラー)で用いられるコンプレッサー等を使用しないため、機器構成がシンプルで高効率。
- ピーク消費電力の大きい冷水器を使用しないため、同等電力設備の場合、ICT機器側で使用できる電力量を30%増加させることが可能。

	標準システム	チラーレス空調システム
冷却方式	コンプレッサー等のヒートポンプ原理を利用	循環水を媒体とする外気への排熱 (高温時はクーリングタワーの散水も実施)
S L Aの保証範囲	温度：18～27℃、湿度：25%～60% (ASHRAE TC9.9 Recommended準拠)	温度：15～32℃、湿度：20%～80% (ASHRAE TC9.9 A1準拠)
同等電力設備においてICT機器側で使用できる電力量比(従来型を1とした場合)	1	1.3

ASHRAE: 米国暖房冷凍空調学会 サーバルームなどの推奨温湿度条件などを定めている。

【チラーレス空調システムのシステム構成】

